

会報



いせん

発行元 神奈川県平塚市寺田縄 265-1
社会福祉法人 至泉会
代表者 辻 隆造
編集 清水 行夫 柴山 法子
小池 俊 濱野 優子
関根麻衣子 萩野 泰宏
ホームページ <https://shisen.or.jp/>

第6号

2019.11 発行



YEARS
ANNIVERSARY

理事長あいさつ

「法人設立四十周年を迎えて」

社会福祉法人 至泉会

理事長 辻 隆造

社会福祉法人 至泉会は、令和元年に設立四十周年を迎えることが出来ました。

これは一重に、神奈川県、横浜市、川崎市を始め、秦野市、平塚市、伊勢原市等の行政機関のご支援・ご協力によるものと心より感謝申し上げます。とりわけ、県及び各政令市・中核市の児童相談所、関係市町村の児童・障がい担当課には、長きに渡りご指導いただき感謝に堪えません。また、入所施設の児童教育に手を差し伸べてくださいました幼稚園、小学校・中学校・高校や特別支援学級・特別支援学校の教育関係者・教師の皆様に御礼申し上げます。

各施設は、専門医療機関や地域の開業医のご協力無くして一日も運営することはできません。多くの関連する他施設の施設長をまとめる職員の皆さまのご支援も忘れません。

また、地権者並びに地域の皆さまのご理解とご協力を無くしてこの四十年は考えられません。多くの地域のボランティアの存在は、施設を利用する方々にとって、職員以上に忘れられない思い出になっています。

法人内のことになりますが、設立時より今日までの間に、重責を担っていました、多くの評議員、理事、監事の皆さま方、並びに評議員選任解任委員、第三者委員の皆さまにも御礼を申し上げます。

この四十年間は、法人各施設の本当にありがとうございました。実際に多くの献身的な職員によって積み重ねられた日々の結果です。本当にありがとうございました。

そして、何よりも長きに渡り力を与えてくれましたのは、利用者の皆さん、そして、利用児どご家族の方々にほかありません。我々の仕事は、支援することを目的に日々過ごしておりますが、どれだけ対象の方々からの言動に励まされ、勇気をもらい、元気づけられていることかに職員は気づいています。この場を借り、職員を代表して心から感謝申し上げます。

さて、一九七九年（昭和五十四年）五月、秦野市菩提には誕生した至泉会は、同地にて六月あけぼの園（障がい児通所施設）を開設し、社会福祉事業への歩みを始めました。

昭和・平成・令和と今日までの四十年の間に、一九八三年（昭和五十八年）精陽学園（障がい児入所施設、一九九九年（平成十一年）ソーレ平塚（障がい者入所施設、同年、ソーレ平塚ケアセンター・現ソーレ平塚地域支援センター）、障がい児者通所・相談支援施設、そして、二〇〇四年（平成十六年）すこやか園（障がい児者通所・相談支援施設「伊勢原市の指定管理」）を運営して参りました。

これらの施設運営の根源となる思いは、法人名の「至泉」に込められています。創業者であります、前理事長森三郎（夫婦により、「湧き出する泉の」として福祉の心が絶えない法人でありたい」との精神の元に法人運営が進められて参りました。この思いは今も引き継がれ、今年度設立四十周年を記念した法人シンボルマークとして、職員からの公募により実を結びました。

今号のテーマ

今年は当法人が設立されて四十周年を迎えました。そこで今号は、これまで法人内の各施設と関わりがあつたり、利用されたりしている方に法人や施設への思いを書いていただきました。

また、これまでの歩みを年表にしてまとめてみました（主にこの十年を中心として）ので、併せてご覧いただければと思います。



原案：福田勝範（すこやか園）

青色のS（至泉）は、一滴の水が泉になり全てを潤し、五つの施設（施設色：黄緑・あけぼの園、黄・精陽学園、ピンク・ソーレ平塚、赤・ソーレ平塚地域支援センター、オレンジ・すこやか園）が情熱を込めて福祉事業に当たる姿を表します。

最後になりますが、記念すべきこの年の三月二十一日、前理事長であり顧問の森三郎は八十九歳の生涯を閉じました。ここに法人を代表いたしまして、長きに渡る多くの方々のご厚情に感謝申し上げますとともに、これからも変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。

各事業所の成り立ち

当法人は、今年で法人創立四十周年を迎え、事業所も五か所運営するになりました。そこで、この三月にご逝去された森三郎前理事長が法人創立十周年記念誌及び三十周年記念誌に寄稿した文章から各事業所を立ち上げるまでの動きを振り返ってみたいと思います。なお、各事業所立ち上げ後は動きについては、年表をご覧ください。

「あけぼの園」

私が児童相談所に勤務していた昭和四十年代は、まだ福祉施設も少なく、保育所の障害児保育もほとんど手がつけられておらず、各市の障害児訓練会も週一～二回しか行われてなく、家族の負担は想像を超えたものがありました。また、当時、県央地区には通園施設がなく、保護者の通所施設に対する期待は非常に大きなものがありました。私は、こうした状況にある子どもや家族を何とかしたい、常に悩み続けていたのが契機となりあけぼの園の設置を決心し、神奈川県を退職し、昭和五十四年にあけぼの園を開設しました。

「ソーレ平塚・ソーレ平塚地域支援センター」

平成七年頃、県の障害福祉課を通して平塚市肢体不自由児父母の会より肢体障害者療護施設の設置運営をしてほしいと相談がありました。私は、この施設が県内に不足していることは理解していたものの、当法人には用地買収や建築費等の資金もなく成人施設を運営した経験が少ないと説明し、断り続けました。ところが何度もお会いしているうちに役員の方々

「精陽学園」

児童相談所に勤務していた当時、県内に肢体不自由児施設は二か所ありました。しかし、児童福祉施設と言つても制度上運営は病院の形態をとつており、手術やリハビリが終了しても養護性が高く家庭に帰ることが困難な肢体不自由児は入所できず、これらの児童の処遇に大変苦労しました。その一方で私は、こうした施設は生活の場として適当ではないと理解していたので、肢体不自由児の生活の場としての施設（肢体不自由児療護施設）を設置すべきと考え、あけぼの園開設後の昭和五十八年に精陽学園を開所しました。

「すこやか園」

すこやか園は、伊勢原市によって設置運営されてきた施設ですが、平成十五年頃、当時の伊勢原市の福祉部長が何度も法人事務局に来られてすこやか園の運営を当法人に委託したいと申し入れがありました。しかし、当法人は、ソーレ平塚を立ち上げたばかりでゆとりもないため、他の法人に話をしてほしいと断り続けましたが、度重なる申し出について受託を決心し、伊勢原市長に直接お会いして受託する意向を伝え、平成十六年四月からすこやか園の委託運営を開始しました。

上げたのだということを改めて感じました。残念ながら森前理事長はお亡くなりになりましたが、今後も当法人は、森前理事長のお気持ちを忘れることなく各事業所の運営を行つていただきたいと思っておりますので、これからもよろしくご指導、ご鞭撻くださいますよう心からお願い申し上げます。



あけぼの園

「頼りにされるあけぼの園に」

あけぼの園 園長 三浦 郁夫

あけぼの園の建物は堅牢な造りで四十年がたっても変わらずにしつかりと建っています。よくよく見ると年輪を感じしますが、とても丁寧に使われてきました。この建物は今まで四十年間に入園してきた五二二名の子どもたちをしっかりと見守っています。

泣きながら入園してきた子どもたちが卒園する時には、大きく成長して小学校や養護学校、幼稚園に巣立っていきました。学校の先生方から「あけぼの園で育つてきただ子どもたちは基本ができるので、まったく療育をされてこなかつた子どもたちは学校での教育効果が全然違う」という話を聞いて、改めてあけぼの園の役割の重要性を強く感じています。そして四十年間地域の中で必要とされる存在で、着実に歩んでこられたことを感謝しています。

そんな状況の中で、あけぼの園の療育内容も試行錯誤しながらですが、子どもたちも保護者も、そして職員も日々成長できる物を提

供できるよう、職員一同努力しているところです。これからも頼りにされるあけぼの園でありたい。

「多大なるサポートに感謝です」

保護者 大森 裕里

あけぼの園は友誠のための場所だと思っていました。

去年の十一月頃、園では変わらず過ごしていたのに、家では「行きたくない！」と泣くようになりました。それは理由は分からず朝晩夜中と続き、とても苦悩の日々でした。

入園した頃は何も出来ないと思っていた息子。今は家族で踊って歌って、主人も嬉しそうです。療育という言葉すら知らなかつた私。

先生方はいつも変わらず明るく接して下さり、息子の成長と一緒に喜んで下ります。息子がありのままでいられる場所。元気を貰い笑顔になれるたくさんの時間を過ごしてきました。我が家はあけぼの園が大好きです。

卒園まであと半年となりました。まだまだ課題はありますが、友誠と共に学びそして園での生活を楽しみたいと思います。

「我が家とあけぼの園」

保護者 浜井 里恵

息子のマイブーム、最近話題の

米津玄師さんの楽曲で、東京オリンピック一一〇一〇の応援ソング「パブリカ」を踊って歌う事です。

自宅で度々披露するようになったので、先生へ尋ねると練習されているとの事。六月のあけぼの園で遊ぼうでは、先生の前に陣取り、真剣な表情で一心不乱に踊る息子。凄く上手に。

法人関係
あけぼの園関係
精陽学園関係
ソーレ平塚地域支援センター関係
すこやか園関係
※施設ごとに関連した出来事を色で分けてあります。

【年表】

昭和五十三年
十二月 法人設立登記、理事会設置
昭和五十四年
五月 法人認可法人本部を秦野市菩提五〇七一に置く

六月 法人設立登記、理事会設置
六月 あけぼの園開設
昭和五十八年
四月 精陽学園開設
十月 法人本部を平塚市城所九二二に移転

平成元年
十二月 法人設立十周年記念講演
ならびに式典を開催、併せて記念誌を発行
平成十一年
四月 ソーレ平塚
二月 苦情解決システム「JSYネット」を社会福祉法人寿徳会、よるべ会との三法人で設置
平成十四年
一月 ソーレ平塚療育園開設
三月 精陽学園訓練棟完成

法人四十年の歩み

「法人創立四十周年に際して」

精陽学園 園長 市川 進治

精陽学園は、法人の設立から四年経ちまして、昭和五十八年四月に開設しました。今年で三十六年目になります。開所以降、約四百五十名が措置及び契約によって当園を利用されています。さて、この十年間を振り返ると、平成二十四年の児童福祉法の改正が運営上大きな変化をもたらしました。まず、施設種別の名称が肢体不自由児療護施設から、三障がい対応する福祉型障害児入所施設に変更されました。同時に、加齢児に対しても経過的施設入所支援（生活介護）という成人サービスも併用することになりました。また、経過措置中ではありますが、利用年齢の制限も設けられ、原則高校卒業以降は、利用できなくなります。これらの影響により、入所する児童の障がいの幅も広がり、退所を進めるにあたっては、高校入学時から調整を行うようになっています。

現在、厚生労働省では、「障害児入所施設の在り方に関する検討会」が行われており、様々な分野

から意見を聴取し、論議されております。当園の設備も老朽化が進行しており、令和という新たな時代に対応できるようリニューアルを図らなければならないと思っています。

「私と精陽」

退園児 杉崎 美奈

私は八歳から高校卒業までの時を学園で過ごしました。ここでの出会いや経験は今につながっています。今、社会福祉の大変なことが多く、学で児童福祉について関心を持っています。児童福祉についてもその一つです。

入所中は不安や葛藤と戦うことも多かったです。信頼し相談できていた職員さんの退職や、学校の友人は家庭から来ている事、自分は施設で生活している事という現実から感じた「違い」に苦しんだこともあります。

他の人と違うのは良い事、素晴らしい事と見えるようになりましたのは様々な方との出会いや広い世界を知ったことで気づけました。

退園後、里帰りし、そんな私の近況を聞き喜んでくださる職員さんを見て、これからも学園が私の故郷であつてくれたら嬉しいです。

「守雄さんと精陽学園」

入園児保護者 梶谷 武夫

十二月 平成十五年
六月 六月
六月 六月評議員会設置
運動場移転

神奈川県障害児者地域療育等支援事業の一部を再委託契約締結

相談事業開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

受託運営開始

三月

ソーレ平塚壁画
(田村能里子氏作)除幕式

十二月

神奈川県障害児者在宅支援

平成十六年
四月 四月
四月 四月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

受託運営開始

平成十七年
四月 四月
四月 四月

神奈川県障害児者地域療育等支援事業の一部を再委託契約締結

相談事業開始

平成十八年
十月 十月
十月 十月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成十九年
三月 三月
三月 三月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成二十年
四月 四月
四月 四月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成二十一年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成二十二年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成二十三年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成二十四年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成二十五年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成二十六年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成二十七年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成二十八年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成二十九年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成三十一年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成三十二年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成三十三年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成三十四年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成三十五年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成三十六年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成三十七年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成三十八年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成三十九年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成四十一年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成四十二年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成四十三年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成四十四年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成四十五年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成四十六年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成四十七年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成四十八年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成四十九年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成五十一年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成五十二年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成五十三年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成五十四年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成五十五年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成五十六年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成五十七年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成五十八年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成五九年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成六十一年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成六十二年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成六十三年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成六十四年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成六十五年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成六六年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成六七年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成六八年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成六九年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成七〇年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成七一年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成七二年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成七三年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成七四年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成七五年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成七六年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成七七年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成七八年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成七九年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成八〇年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成八一年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成八二年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成八三年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成八四年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成八五年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成八六年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成八七年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成八八年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成八九年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成九〇年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

平成九一年
十二月 十二月
十二月 十二月

指定管理委託事業の運営を開始

神奈川県障害児者地域療育等支援事業開始

「家族の思い」

ソーレ平塚

「ご縁」

ソーレ平塚施設長 清水 行夫

私が至泉会に勤めだしてから三十年以上たちますが、思い起こせば、大学一年の時に先輩に連れられてあけぼの園に行つたのが至泉会との最初の出会いでした。その当時は、まだ法人内にはあけぼの園しかなく、森前理事長もあけぼの園の中で仕事をされていることが多く、園児と遊んでいる時によく声をかけていただいたいことを今でも鮮明に覚えています。

その後、精陽学園ができ、そちらにも行くようになりましたが、大学を卒業する年に「この仕事をするなら〇〇学園にいった方が良い」と森前理事長に紹介していたいた施設で卒業後一年ほど修行?してから至泉会に就職し、今に至っていますが、森前理事長にお会いできたというのが、私にとってこれまでの人生で最高の「ご縁」だったと感じています。

居住者兄 濱田 治雄

「皆に逢えてから二十年」

今井商店 今井 廣子

平成二十一年
三月 浴室等改修工事

(障害者自立支援法新法へ移行
ソーレ平塚)

四月 障害者自立支援法新法へ移行
大型スヌーズレンの導入
ソーレ平塚

四月 伊勢原市よりすこやか園の
再委託(五年間)開始
日産キヤラバン購入

九月 (神奈川県共同募金会配分)
開所十周年記念イベント

十月 放課後支援として平塚市タイ
ムケア事業開始

十一月 ふれあい展示即売会参加
高砂部屋平塚巡業見学

十二月 女子棟集会室の個室化工事
及び医務室改修(財団法人日
母おぎやー献金助成・県短期
入所強化事業補助金)

七月 ホール側倉庫設置(神奈川県
共同募金配分)

八月 平成二十三年
一月 コーロピアチャーレ(コーラス
サークル)によるコーラス発表

二月 神奈川県立花と緑のふれあい
センター 花菜ガーデンオーブン
設置

三月 二階トイレ天井走行リフター

五月 選択食の導入

六月 法人本部を平塚市寺田郷
二五六一に移転

七月 日産キヤラバンチャーリング購入
(神奈川県共同募金会配分)

六月 東日本大震災被災地支援職員
派遣

八月 被害日本大震災被災地支援
職員派遣

十月 湘南西部地区地域拠点事業所
(神奈川県共同募金配分)
屋上防水工事

十月 配置事業(あんしんネット)



冬の雪をかぶった富士山、また夏の黒い富士を正面に、田植の頃は燕が飛び交い、秋には黄金色の田んぼ、そんな自然がいっぱいの中にソーレは生まれた。今から二十年のこと、初めて行った日、ホテルに皆並んで待つていてくれ、感激した事を思い出す。途中でシヤローム浦上台(他施設)へ行つてしまつた人達。

また思いもよらず早い旅立ちとなつてしまつた方々、目を閉じると個性溢れる皆の笑顔や色々な情景が走馬灯のように浮かび楽しみでもあつた日曜日でした。

これからも優しいスタッフと共に元気に過ごして下さいることを願い、また至泉会、ソーレが増々地域と共に福祉向上の為に発展いたしますようお祈り申し上げます。

まずはソーレ平塚施設の経営本体である社会福祉法人至泉会の創立四十周年到来に心からの祝賀を申し上げさせて戴きます。通常の企業体の四十年を上回る存在は珍しいことではありませんが、多様な障害を負つたとりわけ重度の障害者のケアを担う事業は日々の報道に開示される事件以上の困難を伴うことであり、長年に亘り大きな事故もなく重度の障害者が身を寄せ合いながら安心して日々を生きる場を提供する偉大な結果に改めて感謝し増々の進展を祈ります。筆者の妹も重度の障害者の身でソーレ施設開業の初期生として入所させて戴き、富士山が麓から見える美しい環境の地に振り向くと新幹線列車が超スピードで通過して多くの旅の夢を育む場所を常に心を塞がれる障害者のために開拓されたこと神の導きと考える他ありません。事業者とケア指導者が常に入所障害者の一瞬の幸せでも確保しようと時を惜しまず様々な提案を試みている姿に手を合わせるばかりであります。

「大切にしたい気持ち」

ソーレ平塚地域支援センター

副センター長 島田 哲

私が至泉会に勤めたのはソーレ平塚が出来た平成十一年なので、令和元年の今年で丸二十年となりました。ソーレ平塚がある寺田縄地域は、お祭りや盆踊り、公民館での催し等で、人のつながりをたくさん感じられるとても温かい地域です。ソーレ平塚もこの二十年でさまざまな場面で地域から声を掛けでもらえることが増えて、地域の一員となれたように思います。

私は寺田縄で暮らしている訳ではありませんが、仕事で地域に参加させてもらうことも多く、この地域で暮らしているかのような気持ちになっています。例えば毎年元旦に行われるマラソン大会への参加は、私の恒例行事です。

これからも至泉会での仕事を通して、この気持ちを大切にしたいと思っています。

「心に太陽を」

ボランティア 小林 淑子



「心に太陽を持て」という詩があります。『心に太陽を持て、あらしがふこうと ふぶきがこようと・・』私が初めてこちらに向つた日、明るい笑顔と元気な挨拶をして下さる皆さんに出会ってソーレ平塚の名とこの詩とが結びつきました。私は週に一度のコーラスのお手伝いをしていますが、実はこの詩の第二節が『くちびるに歌を持って 軽く ほがらかに・・・』なのです。初めのうちは戸惑ついていても練習が進むにつれて自信を持つて歌うようになっていく皆さんの姿は頼もしく、私の楽しみもあり喜びともなっています。

創立四十周年を御祝い申し上げますと同時にこれからもソーレ平塚が名実共に太陽のような存在であり続けることを願っています。

「私とソーレ」

利用者 原田 真也

私にとってソーレとは、人と接し色々な活動をし、楽しくまた人との交流を深める場所また色々な自分を発見できる場所でもあります。月曜日から金曜日にかけさまざまな活動をします。陶芸や花道書道、ボッヂやフライングディスク、さまざまな活動をしてやってみたら意外と俺できるんだと新たな自分を発見したりします。カーデゲームやゴロ卓球、風船バレーなどテーブルでもできる活動でみんなで楽しくワイワイしたりします。午後は活動がなく自由な時間で皆さんとお話しをし情報交換できたりします。そこで自分の知らなかつた事などを知る事ができます。

そして一年に一度のビックイベントの日帰り外出があります。ある程度の所であれば、好きな所に連れて行つてもらいます。普段、自分ではなかなか出かけることができないので、とても気分転換ができる日です。このように私にとってソーレとは人との交流を深められてソーレとは人との交流を深め知らない事を知り新たな自分を発見できリフレッシュのできる所です。

十月

日中一時支援事業
「ひなたぼっこ」開始平成二十四年
一月 短期入所個室化工事二月 身障協卓上競技大会にて施設紹介ボスターが審査員特別賞受賞(地域活動支援センター)
三月 日産キープ購入
(神奈川県福祉事業協会助成)四月 障害者自立支援法(障害者総合支援法)及び児童福祉法改正
五月 療育室改修工事六月 身体障害者デイサービス事業、重心児者通園事業B型を児童発達支援事業と生活介護事業の多機能型事業所に移行
七月 肢体不自由児療護施設から福祉型障害児入所施設に名称変更

八月 児童デイサービスからすこやか園児童発達支援事業に移行

九月 生活支援センターを指定特定相談支援事業所、指定障害児相談事業所として登録

十月 旬菜の日(季節のメニュー食)の導入

十一月 全身協全国大会 愛の十二ヵ条発表

十二月 障害児相談支援事業、特定相談支援事業事業開始
園遊具リフレッシュ工事一月 身障協卓上競技大会にて施設紹介ボスターが審査員特別賞受賞(地域活動支援センター)
(ドッグヒーリングスペース)

すこやか園

「社会福祉法人至泉会への思い」

すこやか園園長 藤原 雄三

まだ未就学児への支援の場が少なかった今から約四十年前に、初代理事長が毎日通い早期に専門的療育が受けられる場の必要性を痛感し、昭和五十五年に知的障害児通園施設（現、児童発達支援センター）あけぼの園を開設しております。

私は昭和六十三年から五年間、児童相談所で秦野市を担当し、あけぼの園での療育が必要な子どもたちの対応をしたのが社会福祉法人至泉会との関わりの始まりでした。それから二十数年後に縁あって、現在すこやか園の園長をしておりますが、至泉会創立の理念でもあります利用者様を中心とした最善のサービスに今後も努めたいと思います。

した。

後に入浴サービスを取り入れて

下さり、親子共々年を取るにつれ、七十歳を超えた私共には、家での入浴は一番危険で体力的にも大変なことなのです。

本当に有難く感謝しております。これからもよろしくお願ひ致します。



「私とすこやか園」

利用者家族 丸井 玲子



「たくさんの笑顔」

元利用児保護者 大山 沙子

「じんちゃんのお弁当箱空っぽできたね。」と先生が空にできた息子のお弁当箱をあげさなくらい目一杯褒めてくださいました。得意気で自信満々の息子を見たのはその時が初めてだったかもしません。発達が遅い二歳の息子がどうして褒められたのかをしつかり理解しているように見えて嬉しくなりました。

すこやか園の先生方はいつも笑顔で子供達にできる喜びを実感させてくださいました。その素敵なか環境の中で息子は何度も自信に満ちた笑顔を見せてくれました。

私も息子にしっかり向き合う時間を持ることができました。すこやか園で最高の笑顔を教えて頂いたおかげで、息子は何事にも自信を持って頑張れるようになつたんだと私は思います。



平成二十六年
五月
三月 教材倉庫を生活支援センター職員室としてリフォーム工事を実施

保育所等訪問支援事業開始
コーロピアチャーレ単独コンサート（平塚美術館）

四月
九月
十月
十二月

日中一時支援事業を児童療育課から障害者支援課に移行
「災害時福祉避難所としての施設使用等に関する協定」を伊勢原市と締結

平成二十七年
三月 地域活動支援センター職員室拡張工事を実施

伊勢原市よりすこやか園の再委託（五年間）開始
日帰り旅行再開

四月
八月
八月
九月
九月
十月

小学生ボランティア実施
日産キヤラバンチエアキャブ購入（神奈川県共同募金会配分）
温冷配膳車の導入（神奈川県共同募金会配分）
食堂の改修工事実施
ハロウイン実施

平成二十八年
四月
五月
七月
七月
九月
九月
十月

記録ソフト「Taskware」の導入
ナースコール機器交換（全館）
夏祭り実施
非常スロープ修繕
防災倉庫設置、特殊浴槽（座位浴）を更新

平成二十九年
一月
二月

トヨタ エスクァイア購入（中央競馬馬主社会福祉財団配分）
一階女子トイレ改装工事、二階

五月

シャワーベッド等購入
(神奈川労働局)

平成三十一年（令和元年）度
辞令交付式・新採用職員研修

今年度もフレッシュな職員が入職し、四月一日に辞令交付式並びに新採用職員研修が執り行われました。辞令交付式後、新採用職員に加えて昨年度中途採用された職員も含めて研修を行い、理事長から祝辞並びに「当法人の職員に期待すること」という表題で話があり、その後、常務理事から「法人の理念、組織、人事考課」、「職員就業規則や給与規程等の諸規程」等について説明があり、当法人の職員としての第一歩を踏み出しました。入職者の経歴は様々ですが、どの職員もご利用児・者、ご家族のニーズに添えるよう毎日頑張っています。慣れるまでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

平成三十一年（令和元年）度
新採用職員

◇すこやか園

高橋 茉
村井 美代子
事務員



平成三十一年度
中途採用職員

◇精陽学園

西山 美香

渡邊 恵理子

児童指導員
看護師

◇ソーレ平塚

平山 光成

濱野 優子

生活支援員
生活支援員

◇ソーレ平塚地域支援センター

加藤 寿美子

看護師



平成三十一年（令和元年）度
人事異動

平成三十一年四月一日付
◇ソーレ平塚

生活支援員

西山 美香

（精陽学園より）

◇すこやか園

主任 相談支援専門員

重野 美樹

（精陽学園より）

令和元年七月一日付
◇精陽学園

園長

市川 進治
(ソーレ平塚より)

◇ソーレ平塚
施設長

清水 行夫
(精陽学園より)

平成三十一年度

中途採用職員

九月

防犯カメラの設置、特殊浴槽

（外浴）を更新

配分

十一月 日産キヤラバン チエアキヤブ購入（神奈川県共同募金基金会

十二月 森三郎理事長退任、辻隆造新理事長就任

平成三十年
三月 侵入防止用の柵を設置（一階通路）

四月 遠足外出の実施（ディズニーランド、金沢動物園、東京方面等）

六月 日産キヤラバンチエアキヤブ購入

七月 記録ソフト「Taskware導入

七月～十二月 大規模修繕（バルコニーの塗装工事・テラスの防水塗装工事・ボイラーの交換・冷温水発生機の交換・中庭の修繕工事）全館LEDへ交換

九月 平塚市障がい者地域生活サポート事業による防災用品の購入

十二月 令和二年度からのすこやか園再委託が確定

十二月 日産キヤラバンチエアキヤブ購入（神奈川県共同募金会配分）

平成三十一年（令和元年）五月

四月 しせん相談室開設により障害児相談支援事業、特定相談支援事業事業休止

五月 相談支援事業「すこやか園生活支援センター」の名称をあげぼの園相談支援事業と統合し、「しせん相談室」に変更

五月 育泉会（父親の会）より玄関のベンチを寄付

五月 日中一時支援事業の支援スペース拡大に伴い、開所日と一日

五月 育泉会（父親の会）より玄関のベンチを増加、成人利用者も利用対象に拡大

九月
転落防止柵設置

日産キヤラバン チエアキヤブ購入（神奈川県共同募金基金会

(一) 職員採用・人材育成について
職員採用においては、今年度も年度途中での欠員補充（保育士、生活支援員、看護師）ができない状態が一部の施設で続き、療育・支援、収入等に支障が出ている状況があり、インターネットでの求人、派遣、人材紹介等を活用して募集していますが良い人材が見つからず苦慮しております。下半期より法人人材育成委員会を立ち上げ、職員採用について検討するようにしました。

人材育成は、各施設の特性に応じた研修に加え、法人全体を横断的に考え、階層別に必要な内容と職員のつながりを強められるような内容にしていく必要があり、二月にまず幹部職員階層の研修を二回に分けて実施しました。また、四月に人事考課者研修を（株）エイデル研究所に講師をお願いし、実施し、下半期に人事考課の見直しを行いました。

(二) 相談支援について

計画相談支援については、あけぼの園、ソーレ平塚生活支援センター、すこやか園において実施していますが、年々相談件数が増えつつ相談内容も多様化してきており、質の高いサービスを提供し、

相談員の質を向上させ地域ネットワークを形成する等、他事業所等との連携がより必要になってきております。そこで、昨年度からソレ平塚生活支援センター、すこやか園生活支援センター、あけぼの園の相談員が定期的に集まり情報共有を図り、相談支援事業を充実させるようにしましたが、今年度からは、さらに各相談支援事業所の代表者（主任以上）で「コア會議」を開催し、将来の相談支援体制の一本化に向けて、まずは、平成三十一年四月からのあけぼの園相談支援事業の休止とそれに伴うすこやか園生活支援センターとの発展的統合について検討しました。

(三) 防犯・防災対策について

当法人では、年度当初の事業計画に示してある法人の基本理念を念頭に利用児者の安心と安全を取り、療育や支援等の各種サービスを提供するために各施設の実状に合わせて防犯設備を導入し、防犯・防災備品を購入しました。

また、未然に犯罪や災害から利用児者を守れるよう防犯アドバイザーに施設の巡視をしてもらったり、防犯講習会や防災研修会を開催、もしくは職員を派遣したりしました。

相談員の質を向上させ地域ネットワークを形成する等、他事業所等との連携がより必要になってきております。そこで、昨年度からソレ平塚生活支援センター、すこやか園生活支援センター、あけぼの園の相談員が定期的に集まり情報共有を図り、相談支援事業を充実させるようにしましたが、今年度からは、さらに各相談支援事業所の代表者（主任以上）で「コア會議」を開催し、将来の相談支援体制の一本化に向けて、まずは、平成三十一年四月からのあけぼの園相談支援事業の休止とそれに伴うすこやか園生活支援センターとの発展的統合について検討しました。

(五) 危機管理について

今年度は例年に比べ大型の台風が多く発生し、各地で被害が相次ぎましたが、七月下旬に発生した台風十二号の際には、ソーレ平塚では、被害はなかったものの近隣地域に「避難準備・高齢者等避難開始」情報が出されたため、一階の居住者及び短期入所利用者全員を一晩、二階の短期入所居室と三階のホールへ避難させました。また、九月下旬に発生した台風二十四号の際には、精陽学園では、夜勤者を一名増員しました。暴風雨により屋根のスレート、雨樋、車のドアミラー、エアコンのダクトカバーが吹き飛ばされ、鉄製の門扉が倒されました。幸いにも人の被害はありませんでした。

(七) 情報システム管理について

ソーレ平塚の情報共有システムの移動制限等のハード面での対策とともに、職員の把握方法の見直し、児童相談所と連携した性教育の実施等の対策を講じました。

でしたが、体力のない児童や高齢者にとつては、命の危険もあり、今は傷みや故障が多くなってきたと思います。

(六) 権利擁護について

利用児者の権利擁護については、精陽学園の児童同士の関わりにおいて、性的事故が複数回起こったため、生活全般の見直しを行い、居室変更、食事座席変更、居室内

の移動制限等のハード面での対策とともに、職員の把握方法の見直し、児童相談所と連携した性教育の実施等の対策を講じました。

（四）設備改修・改善について
ソーレ平塚は、開所から約二十年が経ち、建物や空調・給湯機器に傷みや故障が多くなってきたため、八月から外壁補修・屋上の防水工事、LED照明交換工事、ボイラーアクセサリ交換工事を行い、十一月に工事は完了しました。

（七）情報システム管理について
ソーレ平塚の情報共有システムの設定を修正し、同システムをソーレ平塚地域支援センターと精陽学園に導入しました。

また、下半期より法人全体で統一された情報管理システムを構築するため、情報管理システムの設定や変更、拡張について検討し、あわせて法人ホームページの見直し、管理方法等について検討することを目的として法人情報管理制度委員会を立ち上げました。

法人のホームページのリニューアルについては、当初の予定よりも遅れていますが、令和元年秋ごろの完成を目指して現在業者と連携を取りながら作成しているところです。

平成二十一年度 社会福祉法人 至泉会 決算報告

※詳細は当法人のホームページをご覧ください。

第一号第一様式

法人単位資金収支計算書
(自)平成30年 4月 1日(至)平成31年 3月31日

第二号第一様式

法人単位事業活動計算書
(自)平成30年 4月 1日(至)平成31年 3月31日

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
事業活動による収支	児童福祉事業収入	206,118,740	207,246,760	△ 1,128,020	サービス活動による収支	児童福祉事業収益	207,246,760	201,866,991	5,379,769
	障害福祉サービス等事業収入	742,166,273	746,407,060	△ 4,240,787		障害福祉サービス等事業収益	746,407,060	722,463,576	23,943,484
	経常経費寄附金収入	909,956	954,277	△ 44,321		経常経費寄附金収益	954,277	1,041,037	△ 86,760
	受取利息配当金収入	34,635	39,804	△ 5,169		その他の収益	65,570	65,570	△ 65,570
	その他の収入	8,645,446	8,912,446	△ 267,000		サービス活動収益計(1)	954,608,097	925,437,174	29,170,923
	事業活動収入計(1)	957,875,050	963,560,347	△ 5,685,297		人件費	726,937,242	709,690,329	17,246,913
	人件費支出	710,101,150	712,604,956	△ 2,503,806		事業費	100,326,365	98,788,197	1,538,168
	事業費支出	100,708,299	100,326,365	381,934		事務費	213,605,450	110,054,442	103,551,008
	事務費支出	212,526,527	213,605,450	△ 1,078,923		減価償却費	51,676,923	43,512,936	8,163,987
	支払利息支出	118,800	118,800	0		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 32,510,236	△ 28,654,449	△ 3,855,787
施設整備等による収支	その他の支出	5,084,920	5,410,290	△ 325,370		国庫補助金等特別積立金額	12,725,000	△ 12,725,000	
	事業活動支出計(2)	1,028,539,696	1,032,065,861	△ 3,526,165		サービス活動費用計(2)	1,060,035,744	946,116,455	113,919,289
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 70,664,646	△ 68,505,514	△ 2,159,132		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 105,427,647	△ 20,679,281	△ 84,748,366
	施設整備等補助金収入	2,300,000	2,365,000	△ 65,000		借入金利息補助金収益	328,900	△ 328,900	
	施設整備等寄附金収入	500,000	500,000	0		受取利息配当金収益	39,804	33,856	5,948
その他の活動による収支	施設整備等収入計(4)	2,800,000	2,865,000	△ 65,000	サービス活動外による収支	その他のサービス活動外収益	8,912,446	7,445,150	1,467,296
	設備資金借入金元金償還支出	500,000	500,000	0		サービス活動外収益計(4)	8,952,250	7,807,906	1,144,344
	固定資産取得支出	50,650,559	50,584,159	66,400		支払利息	118,800	447,700	△ 328,900
	施設整備等支出計(5)	51,150,559	51,084,159	66,400		その他のサービス活動外費用	5,410,290	5,642,510	△ 232,220
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 48,350,559	△ 48,219,159	△ 131,400		サービス活動外費用計(5)	5,529,090	6,090,210	△ 561,120
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	133,397,590	133,501,660	△ 104,070	特別積立金による収支	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,423,160	1,717,696	1,705,464
	その他の活動による収入	18,580	46,380	△ 27,800		経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 102,004,487	△ 18,961,585	△ 83,042,902
	その他の活動収入計(7)	133,416,170	133,548,040	△ 131,870		施設整備等補助金収益	2,365,000	12,725,000	△ 10,360,000
	積立資産支出	27,674,700	17,679,200	9,995,500		施設整備等寄附金収益	500,000	500,000	0
	その他の活動による支出	706,960	706,960	0		固定資産売却益	1,000	△ 1,000	△ 1,000
その他の活動による支	その他の活動支出計(8)	28,381,660	18,386,160	9,995,500		特別収益計(8)	2,865,000	13,226,000	△ 10,361,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	105,034,510	115,161,880	△ 10,127,370		基本金組入額	500,000	500,000	0
	予備費支出(10)		—			固定資産売却損・処分損	7	15	△ 8
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(1)	△ 13,980,695	△ 1,562,793	△ 12,417,902		国庫補助金等特別積立金額	2,288,181	2,288,181	
	前期末支払資金残高(12)	202,228,307	202,228,307	0		特別費用計(9)	2,788,188	500,015	2,288,173
当期末支払資金残高(11)+(12)		188,247,612	200,665,514	△ 12,417,902	当期活動増減差額(10)=(8)-(9)	特別増減差額(10)=(8)-(9)	76,812	12,725,985	△ 12,649,173
当期末支払資金残高(11)+(12)						△ 101,927,675	△ 6,235,600	△ 95,692,075	
当期活動増減差額(10)=(8)-(9)						△ 266,030,783	266,466,383	△ 435,600	
当期末活動増減差額(11)=(10)+(12)						△ 164,103,108	260,230,783	△ 96,127,675	
当期末活動増減差額(12)						△ 132,200,000	12,800,000	119,400,000	
当期末活動増減差額(13)=(11)+(12)						△ 8,600,000	7,000,000	1,600,000	
当期末活動増減差額(14)=(13)+(14)+(15)						△ 287,703,108	266,030,783	21,672,325	

法人単位貸借対照表

平成31年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部		
	当年度末	前年度末	増減	
流动資産	278,653,208	276,279,631	2,373,577	流动負債
現金預金	138,254,375	144,718,173	△ 6,463,798	事業未払金
事業未収金	127,382,366	120,013,210	7,369,156	1年以内返済予定設備資金借入金
未収金	227,325	189,356	37,969	1年以内支払予定期長期未払金
未収補助金	5,704,960	5,727,580	△ 22,620	未払費用
立替金	6,551,954	4,296,456	2,255,498	預り金
前払金	0	802,538	△ 802,538	職員預り金
前払費用	521,388	528,318	△ 6,930	前受金
その他の流動資産	10,840	4,000	6,840	貰与引当金
固定資産	1,066,251,184	1,183,353,475	△ 117,102,291	固定負債
基本財産	609,389,525	646,183,004	△ 36,793,479	設備資金借入金
土地	52,510,368	52,510,368	0	退職給付引当金
建物	556,879,157	593,672,636	△ 36,793,479	長期未払金
その他の固定資産	456,861,659	537,170,471	△ 80,308,812	負債の部合計
土地	3,000,000	3,000,000	0	負債の部合計
建物	37,738,078	1,425,360	36,312,718	純資産の部
構築物	3,075,126	3,377,289	△ 302,163	基本金
機械及び装置	1	1	0	第1号基本金
車輌運搬具	16,418,913	13,997,353	2,421,560	第2号基本金
器具及び備品	20,830,673	23,861,291	△ 3,030,618	国庫補助金等特別積立金
権利	1,944,432	1,951,098	△ 6,666	その他の積立金
ソフトウェア	3,890,156	3,584,279	305,877	人件費積立金(措置)
退職給付引当資産	83,317,800	75,701,500	7,616,300	施設・設備整備積立金(措置)
人件費積立資産(措置)	3,000,000	8,000,000	△ 5,000,000	人件費積立金
施設・設備整備積立資産(措置)	88,711,000	88,711,000	0	施設・設備整備積立金A
人件費積立資産	36,400,000	36,400,000	0	施設・設備整備積立金B
施設・設備整備積立資産A	129,600,000	202,600,000	△ 73,000,000	移行時特別積立金
施設・設備整備積立資産B	28,700,000	38,300,000	△ 9,600,000	次期繰越活動増減差額
移行時特別積立資産	0	36,000,000	△ 36,000,000	(うち当期活動増減差額)
リサイクル預託金	0	233,500	△ 233,500	△ 101,927,675
長期前払費用	235,480	27,800	207,680	△ 6,235,600
資産の部合計	1,344,904,392	1,459,633,106	△ 114,728,714	△ 95,692,075
負債及び純資産の部合計				
				△ 1,257,053,113
				△ 131,649,730
				△ 1,459,633,106
				△ 114,728,714